

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
第2回会議のご意見と対応について

資料1

No.	審議会でのご意見・ご質問	総合戦略における対応			
		記載箇所	考え・回答	対応	修正案
(1) 八潮市人口ビジョン(素案)について					
1	前回の審議会の際に事務局から第5次八潮市総合計画における将来目標人口は、10万人であり、それを達成できるような推計を行うという説明があったが、新たに推計された人口の将来展望を見ると2025年には100,067人、2060年には93,627人になる。国立社会保障人口問題研究所の推計と比べると思い切った計画となっている。計画を立てて八潮市として努力していけば数字に達する可能性はあるということだと思ふ。努力目標であり自然と達するというものではない。	p22 人口の将来展望	ご提案のとおり、総合戦略に位置づけた施策を推進することにより、人口の将来展望の達成を目指してまいります。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—
(2) 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について					
基本目標1					
2	現在の八潮市ふるさとハローワークでの就労支援を必要とする求職者の人数は、どのくらいか。	p3 数値目標	ハローワーク草加で把握している八潮市の求職者数では、月に1,000件程度となっています。	質問	—
3	法人市民税納税義務者数の基準値が3,554人となっているが、ここ2、3年は増えているのか減っているのか。	p3 数値目標	平成25年以降は増加傾向にあり、平成25～26年は約20人、平成26～27年は約70人増加しています。本市における事業所数が増加し、納税義務者数が増えるような取り組みを進め、平成31年度の目標達成を目指してまいります。	質問	—
4	農産物、工業製品についてブランド化という方向性が示されている。ブランド化にあたっては良いものを作ることが大前提だが、それ以上によく知ってもらうことが大切だろう。具体的には冊子を作るという事業が示されているが、市内外により幅広く知ってもらうための手段として、このほかに考えていることや想定できるものがあれば教えてほしい。	p5 基本的方向1 p7 基本的方向3	八潮ブランドの認定制度等を創設するなどして、よりよい商品を推奨していきたいと考えております。また、PR方法については、市内の優良企業を冊子として取りまとめ、市内外に広く配信していきたいと考えております。そのほか、P11基本目標2基本的方向1具体的な施策②広報事業により、「八潮市の魅力」を発掘し、ツイッター、フェイスブック、動画配信サイトなども活用して情報を発信していきたいと考えております。	質問	—
5	基本目標1と基本目標2で、情報の交流に関する話が切り離されて見える。これだと情報の交流は住みやすさの話だけに見えてしまう。それだけではなく、農業や工業のブランド化の面でも情報をいかに発信していくかということが必要であるため、表現にももう少し工夫が必要である。	p5 基本的方向1 p7 基本的方向3	P11基本目標2基本的方向1具体的な施策②広報事業では、他の基本目標に関する情報発信も行うことを想定しておりますが、関係性が見えにくくなっており、表現を修正いたします。	記述を修正いたします。	P5基本目標1基本的方向1具体的な施策②地産地消推進事業において、「本市独自の認定制度の創設による八潮の八つの野菜のブランド化や情報発信によるイメージアップを支援する。」といたしました。 P7基本目標1基本的方向3具体的な施策①工業振興事業において、「市内の優れたブランド製品を冊子にまとめるとともに、情報発信し、セールスするなど、市が積極的に支援する。」といたしました。 P11基本目標2基本的方向1具体的な施策②広報事業において、「本市に関心を持ってもらうため、産業や観光資源など、「八潮市の魅力」を分析し、」といたしました。
6	野菜をブランド化するということだが、例えば、立派な直売所を作るなど、もう少し大きな規模でできないか。現在の場所では、どうなのだろうか。もっと人が集まる場所に作れないか。そういう計画はないのだろうか。	p5 基本的方向1 具体的な施策②	現在の直売所については、JAさいかつが設置したもので、市では新たな直売所を整備する予定はありませんが、八潮の八つの野菜のブランド化や情報発信の支援などを進めていきたいと考えております。また、道の駅については、まだ構想の段階であり、現時点で総合戦略に位置づけることは難しいと考えております。今後、検討が進み、具体的にになった段階で、総合戦略への位置づけが可能か検討したいと考えております。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—
7	他の地域の道の駅などでは、地域の農産物を出品している。八潮の農産物の直売所など、道の駅のようなものを市で作ることはできないか。				
8	KPIを設定して位置づけるのは、現段階では難しいということだろう。検討する旨を、努力目標のようなものでもいいのか、事業内容に追加できないか、ということだと思ふ。				
9	八潮の野菜をPRしたいのであれば、そういう場所が必要だと思ふ。文章だけで発信するのではなく、物がある場所には人は集まる。検討しているのであれば、計画に盛り込んでほしい。				

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
第2回会議のご意見と対応について

資料1

No.	審議会でのご意見・ご質問	総合戦略における対応			
		記載箇所	考え・回答	対応	修正案
10	「商業支援事業」における「市内の商業支援や後継者確保のため、交歓・交流イベントの開催等を支援する」とはどういったものを想定しているのか。また、工業や農業についてもこういったものを考えていないのか。	p6 基本的方向2 具体的な施策③	市内の産業における後継者確保のため、まちコンなどのような出会いの場を設定する事業を想定しています。また、イベントを行うことで市内の商店・飲食店などが活用され、地域の活性化にもつながるものと考え、商業に位置づけました。 農業、工業の後継者についても出会いの場は必要であると考えており、それらも含めた支援として発展させていきたいと考えています。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—
11	お見合いパーティにも取り組んではいかがでしょうか。市内の産業における後継者確保という意味もあるのだろうが、具体的に何か始めていかないと、八潮の人口減少が心配である。		p7 基本的方向3 具体的な施策①	基本目標1 基本的方向3 具体的な施策① 工業振興事業において、「展示会・見本市などへの事業所の出展を支援する」こととしておりますが、支援内容につきましては拡充を図ってまいります。 また、現時点では、市内工業製品の展示施設についての整備予定はございませんので、現時点では総合戦略への位置づけは難しいと考えておりますが、工業の振興に向け、販路拡大のための情報発信や優れた八潮ブランドの認定を行うこととしています。	記述を修正いたします。
12	「工業振興事業」について、八潮市商工会の工業部会では「八潮のスゴ技」として2、3年に一回各企業の宣伝をするとともに、機会あるごとに展示会に参加しPRをしている。販路拡大、受注に繋がるマッチングをしたいので、毎年、5市1町の展示会を行っているが、今年度は三郷市の当番である。三郷市、草加市は、さいたまスーパーアリーナで行う、県や公益財団法人埼玉県産業振興公社などが主催する展示会の中で、5市1町の東部工業展を実施している。八潮市も同様の展示会を実施することが現時点では望ましい。また、八潮市にも、市内で生産される工業製品を全国に発信できるような展示施設があるとよい。東京ビックサイトや幕張メッセなどで開催される大規模な展示会に出展することによる効果と、八潮市内で細々と活動するのでは、商談の成功率に格段の差がある。葛飾区では、毎年、東京国際フォーラムを区で借り上げて展示会を開催し、区内外の企業から出展してもらいマッチングを支援している。八潮市内の工業製品の活性化のためには、そのような支援もしてほしい。企業への出展費用補助が、現在の補助金では微々たる額であるため、その支援の増大も考えてほしい。	基本目標2			
13	「住みやすさナンバー1のまち八潮」の「住みやすさ」とは、何か。住み続けたいと思う人を増やそうというのは、今住んでいる人がこれからもずっと八潮に住み続けたいと思ってもらうことであると思うが、住みやすさには、それをとりまく観光事業や、子育て環境、安全安心なコミュニティ、商業施設の充実、利便性の高さ、区画整理による住環境など、いろいろな項目がある。そうした中で、八潮市の強みと弱みを整理した上で、八潮市が住みやすさナンバー1として、どの強みをより伸ばし、弱みを改善していくのかを選択し、その取り組みをしっかりと発信してほしい。	基本目標	ご提案のとおり、「住みやすさ」には様々な要素があるため、テーマごとに八潮市の強み・弱みを分析しながら、取り組みの方向性を検討いたしました。 総合戦略に定める施策を推進することで、「住みやすさ」の向上を図ってまいります。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—
14	観光資源来訪者数は、基準値が8万人、目標値が19.5万人となっているが、目標値が少ないのではないかと。総合戦略に位置づけられている各施設において、来訪者を増加するための様々な取り組みを企画しているところである。それを踏まえると、数値目標はもう少し高く、倍以上にしても良いのではないかと。	p9 数値目標	ご提案を踏まえ、平成26年度の実績に加え、平成27年の実績や、今後の事業の拡大を勘案して数値目標を見直しました。	記述を修正いたします。	P9 基本目標2 数値目標「観光資源来訪者数」を、「25万人」といたしました。

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
第2回会議のご意見と対応について

資料1

No.	審議会でのご意見・ご質問	総合戦略における対応			
		記載箇所	考え・回答	対応	
15	自転車を活用した市内のアクセスを考えたほうがよい。県道115号線などは、自転車の通れるような道がなく歩道も狭い。自転車でのアクセスを考えた交通網を検討してほしい。せっかく中川やしおフラワーパークが形をなしてきているところなので、中川からのサイクリングロードを整備して、全国から自転車に興味のある若い人が集えるようなものにしてほしい。八潮から自転車の競技大会などを発信し、若い人に来てもらい、八潮市を知ってもらう努力も必要ではないか。	p11 基本的方向1 具体的な施策①	総合戦略は5年間の短期的な計画であるため、まずは、観光資源開発事業にあるように、中川やしおフラワーパーク、中川やしお水辺の楽校、やしお駅前公園などの八潮市の財産を活用しながら、人を呼び込めるようなイベントを進めていき、八潮市に来ていただきたいと考えています。「自転車に興味のある方」や「ランナー」をターゲットとしたイベントの開催、施設整備等については、今後事業を拡充していく上での参考とさせていただきます。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—
16	花桃まつりの際も駅から中川やしおフラワーパークまで歩いていくのには不便である。高速道路の下の歩道をランナーが走りやすいように整備してはどうか。ウォーキングもでき自転車も走れるグリーンベルトにするなど、若者だけではなく、高齢者も住みやすいまちになるといい。八潮っていいなと思われるような、きれいなまちに住みたい。中川という八潮の財産をもっと活かせたらよい。		また、人や自転車等が安全に通れる交通環境の整備については、八潮市全体の整備計画との連携が必要となりますので、第5次八潮市総合計画において道路環境の整備として取り組んでいきたいと考えております。		
17	中川だけでなく、綾瀬川もお願いしたい。		現在、本市の観光資源としましては、中川河川敷の包括占有区域を活用していきたいと考えております。綾瀬川周辺につきましては、総合戦略ではなく、第5次八潮市総合計画において、環境保全対策の推進として取り組んでまいります。		
18	基本目標2に関する指摘については、外から見た観光資源が強調されているように見え、住んでいる人にとっての住みやすさというイメージが足りないのではないかという内容だと思う。表現を工夫してほしい。	全般	基本目標2では、具体的な施策以外に、本市の魅力や施策に関する情報発信を行うことを想定しておりますので、わかりやすくなるよう表現を修正いたします。	記述を修正いたします。	P9基本目標2基本目標の趣旨を「本市への多くの来訪を促し、市外の人に対して本市の魅力を伝えるとともに、市民に本市の魅力に気づいてもらうことで、訪れたくなるまち・住みやすいまちとしての本市の認知度の向上とイメージアップを図る。また、子育てや教育、防災、防犯などの暮らしに関する情報発信の充実や、市民だれもが集い交流できる機会の充実により、市民一人ひとりの住みやすさの向上を図る」といたしました。
19	柳之宮橋からけやき通りへの道路は、いつごろできるのか。松戸草加線の狭い道へ自動車が流入してくる。園児が狭い道を通っており、このままでは交通事故が増える一方なので、行政として働きかけるべきところへ働きかけ、八潮市の交通事故を減らす努力をしてほしい。柳之宮橋には片側しか歩道がないので非常に危険である。	全般	柳之宮橋の架け替えにつきましては、埼玉県越谷県土整備事務所から、橋りょうの詳細設計業務を平成28年3月完了予定と伺っておりますが、平成27年9月の台風18号接近時に綾瀬川のはん濫危険水位を超過したことから、安全性等について再検討を行っているとのこと。今後、関係機関と協議を進め、地元説明会を実施した後、平成28年11月には工事に着手できるよう進めたいと伺っております。	質問	—
20	東京都に住んでいる子どもたちの医療費は、中学生まで無料らしい。しかし、八潮市は一割負担である。このあたりから変えていかないと、転入が少なくなるのではないか。	全般	子どもの医療費に関しては、八潮市では1割の負担をお願いしています。無償化については、現在、市の財政状況も踏まえながら検討を行っています。総合戦略においては、子育て支援施策として、待機児童の解消などその他の課題への対応を進めていきたいと考えております。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
第2回会議のご意見と対応について

資料1

No.	審議会でのご意見・ご質問	総合戦略における対応			
		記載箇所	考え・回答	対応	修正案
21	ピロリ菌の検査等費用に関しても、八潮市は補助の対象にならなかった気がする。子どもだけでなく大人のことについても、格差のないようにしてほしい。	全般	<p>ご提案のピロリ菌については、胃がん発生の原因になるとの調査結果があることから、近年はピロリ菌の検査等費用を助成している自治体もございます。</p> <p>しかし、厚生労働省のがん検診のあり方に関する検討会の報告では、胃がん検診についてはエックス線検査と内視鏡検査が有効であると報告され、ピロリ菌検査は科学的根拠が十分でないため、引き続き検証が必要であるとされています。</p> <p>本市では、がん検診の項目は厚生労働省が定める指針に基づき実施しておりますが、近隣市町の状況や国の動向を注視し、第5次八潮市総合計画の保健サービスの充実として取り組んでまいります。</p>	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
第2回会議のご意見と対応について

資料1

No.	審議会でのご意見・ご質問	総合戦略における対応			
		記載箇所	考え・回答	対応	修正案
基本目標 3					
22	小学生くらいまでの子どものことしか書かれていない。中学生、高校生などの居場所作りはどうか。	全般	P 1 2 基本目標 2 基本的方向 2 具体的な施策①コミュニティ施設整備事業は、特定の層に限定せず、市民だれもが集い、気軽に交流しあえる環境を確保することが重要だと考えから位置づけることとしたものです。対象には中高生も含んでおり、青少年の居場所づくりにもなるものと考えております。	記述を修正いたします。	P 1 2 基本目標 2 基本的方向 2 具体的な施策①「コミュニティ施設整備事業」において、「小学生、中高生、高齢者など、市民だれもが気軽に交流できるよう」といたしました。
23	基本目標 2 の「コミュニティ施設整備事業」において、サロンスペースの目標値に7か所と記してあるが、場所は決まっているのか。また、事業内容の文章について、青少年が含まれていることが伝わるようにしてほしい。				
24	「家庭教育推進事業」の事業内容にある「自尊感情」は難しいのではないかと。「道徳」という言葉を入れるなど、表現をわかりやすく変えられないか。	p 16 基本的方向 2 具体的な施策③	自尊感情とは、自己肯定感ともいい、自分の価値を認め、自分を大切に思える気持ちを言います。また、道徳とは、正しい行為をなすための規範のことを言います。自尊感情という言葉はまだ一般的であるとはいえないため、表現を修正します。	記述を修正いたします。	P 1 6 基本目標 3 基本的方向 2 具体的な施策③「家庭教育推進事業」において、「将来、親になるための学習として、世の中にとって自分自身が大切な存在だと思える気持ちを育み、命の大切さを伝えるいのちの授業（誕生学）を市内小中学校において実施する。」といたしました。
25	「いのちの授業」を実際に聞きに行ったことがあるが、大変感動した。大人が聞いても良い授業である。もっと、PRしてもよいと思うし、八潮として誇れるものだと思う。	p 16 基本的方向 2 具体的な施策③	ご提案のとおり、八潮市として誇れる取組であると認識しており、総合戦略に位置づけることといたしました。基本目標 2 の「広報事業」等を通して、積極的に情報発信を行っていきたくて考えております。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	
基本目標 4					
26	数値目標の町会・自治会等の地域活動への参加率の基準値32.6%は、何を根拠とした数値か。	p 17 数値目標	市民意識調査において、「町会・自治会等の地域活動にどれくらい参加しているか」を問う設問を設定し、把握している数値です。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—
27	商工会で、クリーン活動を行っている。防犯カメラを設置することによって、ごみを捨てる人が減ると思う。人の見ていないところには、粗大ごみが捨てられやすい。捨てられそうな場所は決まっているので、不法投棄という犯罪を取り締まる意味でも、防犯カメラを設置し警察に知らせが行くようにできないか。八潮市は、街路灯も暗いので、できるだけ明るいものにできないか。近隣の自治体では防犯カメラの設置でゴミが減った実績もある。	p 19 基本的方向 1 具体的な施策②	現在、ゴミ捨てや不法投棄対策を目的とした防犯カメラの設置は行っておりませんが、犯罪が集中している八潮駅周辺と子どもの安全を確保するため学校周辺に防犯カメラを計画的に整備しており、その結果、ゴミ捨てや不法投棄の抑止にも繋がると考えられます。市で設置している道路照明灯については、市民要望や都市基盤整備の進捗状況等を踏まえて計画的に整備しており、町会自治会で設置している防犯灯についても、市と連携協力しながら整備を進めています。また、併せてLED化の推進を図っています。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—
28	県の管轄かもしれないが、植栽がないほうが歩道も広くなるし、ごみも捨てられなくてよいのではないかと。歩道に対して、植栽の幅が広すぎるのではないかと感じる。	p 19 基本的方向 1 具体的な施策②	道路環境の改善については、第5次八潮市総合計画に基づき、清掃や緑化等の対策を検討し、安全で、誰もが利用しやすい人にやさしい道づくりを進めてまいります。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—
全体					
29	具体的な施策を実施すると、結果的に数値目標があがると考えるのか。数値目標は数値目標で独立しているのか。例えば、交通安全教室を基準値1校から目標値である2校に上げるなどの具体的な施策を積み上げていくと交通事故発生件数が528件から510件に下がるなど数値の関連性があるのか。	全般	数値目標は、八潮市が目指すべき目標を数値で示したものであり、それを達成するために個別の事業を設定しております。戦略に定めた事業を推進していくことで、結果的に数値目標が達成されると考えています。また、ご指摘いただきました基本目標 2 のKPIにつきましては、戦略全体の統一性を考慮してアウトプット指標での設定についても検討させていただきましたが、アウトカム指標である来訪者数をKPIとして設定することで、より事業の直接的な効果を示すことができるものと考えております。	事業の実施に当たって参考とさせていただきます。	—
30	KPIはアウトプット指標、数値目標はアウトカム指標である。基本目標 2 は、両方アウトカム指標となっているので、整理が必要かもしれない。基本目標 2 については、設定が難しいかもしれないが検討してほしい。				